全国公立学校教頭会通信　NO. １８

きずな

発 行　令和７年 12 月吉日
全国公立学校教頭会研究部
電話：　03-3436-4868
Mail：　zenkokyo@kyotokai.jp
HP：　https://www.kyotokai.jp

中国ブロック研究大会岡山大会報告

研究部　露木　克久

1　大会名称　　第 45 回中国地区公立学校教頭会研究大会（岡山大会）
　　（第 62 回岡山県公立小中学校教頭会研修大会）
2　開催期日　　令和７年 11 月７日（金）
3　開 催 地　　岡山県岡山市
　　おかやま未来ホール：全体会・分科会③　　ラヴィール岡山：分科会①②④⑤⑥

4　日　　程　　開会行事　　9:30～10:00
　　記念講演　　10:15～12:00
　　分 科 会　　13:35～16:20
5　大会の概要
　（１）大会主題　　「未来を力強く切り拓く力を育む　魅力ある学校づくり」
　　―キーワード〈自立・協働・創造〉―
　（２）主　　催　　中国地区公立学校教頭会　岡山県公立小中学校教頭会
　（３）後　　援　　岡山県教育委員会　鳥取県教育委員会　島根県教育委員会
　　山口県教育委員会　岡山市教育委員会　岡山県小学校教育研究会
　　岡山県中学校教育研究会　公益財団日本教育公務員弘済会岡山県支部
　　岡山県学校生活協同組合
　（４）開会行事　　①開会のことば②国歌斉唱③大会長あいさつ
　　④来賓祝辞（岡山県教育委員会教育長　岡山市長　全国公立学校教頭会会長）
　　⑤来賓紹介・祝電披露⑥次期開催県あいさつ⑦閉会のことば
　（５）記念講演　　演題「社会の変化とこれからの学校教育」～主体性と当事者性～
　　講師　横浜創英中学・高等学校　前校長　工藤勇一　氏
　（６）分 科 会　　①教育課程に関する課題②子供の発達に関する課題
　　③教育環境整備に関する課題④組織・運営に関する課題
　　⑤教職員の専門性に関する課題⑥副校長・教頭の職務内容や職務機能に迫る課題
　（７）参 加 者　　県外参加者（参集 135　リモート 181）
　　県内参加者（参集 323　リモート 75）　合計 398 人
6　大会に参加して

記念講演は、「現代の多くの社会問題、教育問題など、もとをたどれば、日本の教育で主体性が育まれていないからなのではないか。子供の主体性を育むために、われわれ教員は何をすべきなのか」という、具体的なテーマからのお話であった。心に残ったのは、「地方を見渡した時、私たち教師が育てたいのは、地方で起業しようとするような人材なのではないか」という、工藤先生の主張であった。そのために、自分の頭で考える人材が必要である。学校は自立した人間を育てるための手段として基礎学力を身に付けさせようと取り組んでいるはずなのに、いつのまにか基礎学力をつけることが目的になってしまっているのではないか。本来の上位目標を見失わないような取組が学校に求められているというお話は、われわれ副校長、教頭にとって今後の学校運営の方向性を考えるうえで非常に参考になるものであった。

分科会は、提案発表の多くが地域の特色や独自性をもとに、中学校区などの

チームで検討されたものであった。発表後は、お互いの地域や学校の実情をもとにした活発な意見交換がなされた。各学校に持ち帰ってもすぐに教育実践につながるだろうと感じるものばかりであり、今後それぞれが抱える課題に向き合う際、「副校長、教頭として何をすべきか、どのようにかかわるべきか」という基調提案の趣旨にも合致するものだった。

今大会が盛大に開催できたことは、準備を進めてこられた岡山県公立小中学校教頭会の皆さんに加え、中国地区公立学校教頭会など多くの方々のおかげであると感謝している。同時に、今大会の成果が次年度の鳥取大会やその先の大会にも引き継がれることを願っている。